

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かんがエール		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日	～	2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日	～	2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容	児童の無限の可能性を広げるため、運動、音楽、知育、感覚遊びなど、五感をフルに刺激するバラエティ豊かなプログラムを日替わりで提供しています。「今日は何をするのかな？」というワクワク感が、自発的な成長のエンジンになっています	お子様自身が「これがやりたい！」と自分で選ぶ機会を増やすことで、幼少期からの自己決定能力を育む「超・参加型プログラム」へと進化させます。
2	プログラムの多さ	「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」など、5領域を網羅した圧倒的なプログラム数を自負しています。お子様が飽きることなく、毎日新しい刺激に出会えるよう、専門スタッフが知恵を絞って「ワクワクの宝庫」を創り出しています	豊富なプログラムの中から、その日の集団の雰囲気や個々の集中力に合わせてリアルタイムで内容を微調整できる「柔軟なプログラム・セレクション能力」をさらに磨き、常に最高の発達支援を提供します。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HP等	現場の良質な支援(アウトプット)に全力を注ぐあまり、広報(アウトカムの共有)の優先順位が相対的に低下し、情報が断片的になっていた。	せっかくの「プログラムの多さ」という最大の強みが、外部の方にはまだ十分に伝わっていないことが課題です。今後はホームページの更新頻度を大幅にアップし、専門職が監修した「プログラム徹底解説」などのコンテンツを充実させます。
2			
3			